

な とり カッコー♪と鳴く鳥、「カッコウ」です。



☀️ ^{しょ か なつ}初夏から夏にかけて^{そだ}子育ての時期^{じ き}なので、オスがなわばりを^{しゅ ちやう}主張してよく「カッコー♪」と、さえずっています。グゲゲゲという声も出します。

カッコー♪

カッコウは、^{さっぽろ}札幌市の鳥^{えら}に選ばれていて、^{か せん じき}河川敷や草原で見ることができます。しかし、近年札幌市ではまとまった草むらが少なくなっているため、この鳥が^す好きな環境^{かん きやう}が減^へってきているようです。

そだ 🥚 カッコウは、子育てしない！？

モズやウグイスなどのほかの鳥の^す巣に^{たまご う}自分の卵を産んで、ほかの鳥にヒナを育ててもらう「**托卵（たくらん）**」をします。ねらった鳥がえさを取りに行ったり留守にするすきを見て、巣に卵を一つだけ産みます。そして、数を合わせるためにその巣にあった卵を一つ^す捨ててしまいます。カッコウの卵はほかの卵より数日早くふ化し、ひなはほかの卵を巣から捨ててしまいます。こうしてカッコウのひなはほかの鳥の^{おや}親をひとりじめして^{そだ}育ちます。